

山口ひろゆき 活動レポート

長生村議会議員

キラリ輝く 長生村を!

こどもたちに輝く未来を!



HP &
E-MAIL

事務所 〒299-4332
千葉県長生郡長生村金田 2,873
電話 (FAX) 0475-32-1590
ホームページ <http://www15.plala.or.jp/hiroyuki/>
E-mail y-hiroyuki@zpost.plala.or.jp

発行者 山口ひろゆき後援会
責任者 会長 芝崎 周一
印刷 株式会社 豊文堂

議会定例会3月会議一般質問

1 国道128号線の交通事 故等の安全対策について

Q 国道には、八積小学校の通学路に指定される一部があり、また、沿道沿いには民家や企業が立ち並ぶ立地環境にあります。

運転マナーの低下や高齢ドライバーによる操作ミスによる事故の多発に子どもたちや沿線住民は、いつ事故に遭遇してもおかしくない状況にあるため村の対応を聞きました。

A 村内での過去3年間の人身事故件数で申し上げますと、平成27年が5件、平成28年が20件、平成29年が14件となっています。事故の主な原因としては、脇見運転、安全確認不十分という事ださうです。

地元から安全対策の要望が出てきた場合、現地を調査し、必要であると認識した場合、県に要望を挙げているのとことです。

2 保育所待機児童の現状について

Q 保育所への入所申請がなされており、入所条件を満たしているにもかかわらず、保育所に入所できない待機状態にある児童の問題は、長生村でも新年度の入所手続きをしたにもかかわらず、入所できない方がいると

の情報がおり、村の保育事業の現状を確かめるべく質問をしました。

A 2月1日現在の入所児童数は、八積保育園が定員150人に対し、入所者130人、高根保育園が定員120人に対し、入所者136人、一松保育所が定員90人に対し、入所者68人となっています。

第1希望の保育所に入所できないほどの申し込みがあった場合、他の余裕のある保育所に入所していただくこととなります(管外委託を含む)施設を整備して待機児童

を出さないよう努力することです。

3 教育環境の整備について伺います

Q 全国特別支援学級設置学校長協会は、本年度、初めて全国の小・中学校を対象に「通級指導教室」の実態調査を実施しました。

調査は、通級を設置する全国の小学校789校、中学校178校を対象に実施しました。全国的に「増加傾向」といわれる特別な支援を必要とする児童・生徒数だが、調査によると通級による指導をうける1校あたりの子どもの数は平均で、小学校25人、中学校で14・9人という結果が出ました。そこで本村の実情について質問しました。

A 村内の通級指導教室は、一松小学校で、言語指導を行っています。また、言語以外につきましては、小学校には、特別支援教育介助員3名、学習支援員1名、中学校には、特別支援教育介助員2名、学習指導員3名、また、各学校に外国語指導助手

1名を配置し、他市町村にない「きめ細かな対応」をしています。今後も教員、介助員等で児童・生徒、一人ひとり向き合った教育を実践していくとのこと。

Q 子どもの心とからだを傷つけること(子どもへの暴力)から子どもを守るという大きな社会的課題を解決するには、子どもが、いじめ・虐待・体罰・誘拐・痴漢・性暴力などの様々な暴力から自分の心とからだを守る暴力予防教育プログラムを実施する考えがないか聞きました。

A 長生中学校生徒指導推進協議会並びに福祉課の長生村虐待防止等対策連絡協議会により、いじめや虐待などの問題に対応しておりますので、暴力予防プログラムを実施する考えは現在のところないが、現在行っている一宮町の実績等を見て、判断したいと考えているとのこと。



議会定例会3月会議に提出された議案一覧表

議案番号	議 案 内 容
議案第6号	第5期生涯福祉計画・第1期障がい児福祉計画の策定
議案第7号	高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業の策定
議案第8号	指定居宅介護支援等の事業の人員・運営に関する基準等を定める
議案第9号	個人情報保護条例の一部を改正する
議案第10号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する
議案第11号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する
議案第12号	国民健康保険診療報酬支払準備基金の設置及び管理及び国民健康保険条例の一部を改正する
議案第13号	後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する
議案第14号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正
議案第15号	障がい者計画及び障がい福祉計画策定委員会設置条例の一部を改正する
議案第16号	介護保険条例の一部を改正する
議案第17号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び指定地域密着型介護予防サービスの人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する
議案第18号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する
議案第19号	土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する
議案第20号	平成29年度一般会計補正予算
議案第21号	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算
議案第22号	平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算
議案第23号	平成29年度介護保険特別会計補正予算
議案第24号	後期高齢者医療特別会計補正予算
議案第25号	平成30年度一般会計予算
議案第26号	平成30年度国民健康保険特別会計予算
議案第27号	平成30年度公共下水道事業特別会計予算
議案第28号	平成30年度介護保険特別会計予算
議案第29号	平成30年度後期高齢者医療特別会計予算
発議案第2号	議会委員会条例の一部を改正する
発議案第3号	千葉県循環器病センターの存続を求める意見書の提出

氏名	議案第6号	議案第7号	議案第8号	議案第9号	議案第10号	議案第11号	議案第12号	議案第13号	議案第14号	議案第15号	議案第16号	議案第17号	議案第18号	議案第19号	議案第20号	議案第21号	議案第22号	議案第23号	議案第24号	議案第25号	議案第26号	議案第27号	議案第28号	議案第29号	議案第30号	議案第31号	議案第32号	議案第33号
立川 智浩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鈴木 博	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
井下田 正美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
石川 吉一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
増子 勇男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
千葉 一雅	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
矢部 眞男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
門口 昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小倉 利一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山口 裕之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
片岡 啓治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鈴木 征男	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
東間 永次	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中村 秀美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
関 克也	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○

* 阿井市郎議員は議長のため賛否に参加しません。

八積駅を中心とする小さな拠点を形成し、雇用の場をつくり、地域住民の活動・交流や生活サービス機能の集約の場(核となる中心部)を

これからのむらづくりは、時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域の連携をつくり、また、近隣自治体との共生を図りながら、まちづくりを考えなければなりません。

高齢者を支える子や孫の世代や、その世代が高齢者となる頃に支えられる世代があつてこそ安心してくらせる地域社会が成り立ちます。

しかし、近年、高齢化が進み、また、少子化による人口減少が著しい社会環境に直面しています。

長生村は、平坦な地形と、のどかな農村地帯として、今日まで暮らしやすい環境にありました。

八積駅周辺整備事業
(コンパクトシティ)
構想がなぜ必要か



身の丈に合った規模の事業と、財政の裏付けは当然必要であり、村の財政負担が大きくならぬよう工夫をしながら進めなければなりません。今を生きる私たちの責務と捉え、そして、キラリ輝く長生村をみんなの力で創っていきたく思います。

コンパクトに形成し、子や孫の世代がこの村で住み続けたいと思える街づくりは必要です。

山口ひろゆき12年の歩み（一般質問で取り上げたいことなど）

【福祉関係】

- *福祉タフシーの利用拡大を提案し、利用者の幅が増えました
- *認知症問題を取り上げ「認知症サポーター」制度など、地域で支える環境づくりが実現
- *旧長生高等技術専門校の跡地利用(医療・高齢者施設・子育て施設)が備わる複合施設を提案
- *放課後子ども教室推進事業や放課後児童健全育成事業の推進を訴える
- *学童保育所の6年生までの延長が実現
- *保育所臨時職員の待遇改善を捉え、一時手当の増給が実現する

【教育関係】

- *「いじめ防止対策推進条例」を取り上げ条例制定される
- *オーストラリアへの中学生の海外研修が実現
- *被爆地広島を記念式典に中学生の派遣が新年度から実現
- *こどもたちの安全対策と情報の共有化を図り、青色回転灯のパトロールや不審者情報のメール配信が行われる

【防災対策・環境整備】

- *八積駅の利便性向上や周辺整備を提案し、コンパクトなまちづくりが事業化となる
- *津波避難施設的重要性を訴え、築山や避難施設が建設された
- *避難施設を使った防災訓練を提案し、実施される
- *不法廃棄物の撤去や土壌調査、水質調査の実施が行われる

【交通・安全対策】

- *尼が台交差点の事故防止策として、県の担当課と交渉し中央に白線が引かれる
- *カーブミラー・防犯灯の設置要望を担当課と交渉し実現
- *八積駅ホーム屋根の一部が設置される
- *駅周辺の駐輪場の増設と屋根の取り付け、防犯対策として監視員の配備が実現

【行財政・議会】

- *役場職員の接遇改善を提案し、あいさつ運動が実施される
- *役場職員の宿日直業務の業務委託を提案し、宿直業務が委託される



築山での津波避難訓練

自治功労者表彰者2名、並びに広域市町村圏組合議会議長に就任された方の祝賀会が開催されました。(3月9日 ホテル・シーサイドオーツカにて)

全国町村議会議長会では、町村議会議員及びその関係者が、議会活動を通じ地方自治の進展のために大きな役割を果たしていることを高く評価し、その功労に報いるため、各都道府県町村議会議長会会長の推薦に基づき、毎年2月に開催する定期総会において表彰を行っています。

この度の対象は、町村議会議員として27年以上在職し功労のあつた者として次の2名の方が受賞されました。

全国議長会自治功労表彰受賞

【関 克也 議員】

【中村 秀美 議員】

長生郡市広域市町村圏組合

議会議長就任

【阿井 市郎 議長】

お知らせ

長生村議会議員選挙は4月17日(火) 告示

22日(日) 投票日です。皆様の声を議会に届ける大切な選挙です。

あなたの1票を棄権せず生かしてください。

弁護士による

無料法律相談

日時 4月14日(土)13時～
場所 山口事務所
電話・FAX 32-1590

*より良い解決のため、相談内容を事前にお知らせ下さい(留守番電話のときは、メッセージをお願いします)

編集後記

人間の尊厳に気づかされる認知症の人が一人で外出したり、道に迷ったりすることを徘徊(はいかい)と呼んできた。だが認知症の本人からその呼び方をやめてほしいという声があがり、自治体などで「徘徊」を使わない動きが広がっている。福岡県大牟田市は、認知症の人の事故や行方不明を防ぐ訓練の名称から「徘徊」を外し「認知症SOSネットワーク模擬訓練」として実施されています。スローガンも「安心して徘徊できるまち」から「安心して外出できるまち」に変え、状況に応じ「道に迷っている」などと言換えている。認知症の本人の声を尊重したという当たり前のことに気づかされた。(T.K)